



2007年8月22日

VOL. 9

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

現地発！台湾月刊レポート

台湾宅配便について

宅配市場が伸びている。各社は、さまざまなサービスを展開している。同時に無店舗販売市場が伸びている。宅配が始まったのがたった7年前。よって、宅配を利用したさまざまなビジネスチャンスがある。

■日本のラーメンは台湾では硬すぎる？

「旨いっ。」私は、台湾で一番のラーメンだと思った。高雄の「統一夢世界」、北海道産品を売る北海道百貨店の開幕初日を見て来た。ここでは、北海道食堂を併設し、ラーメンや丼などが食べられる。私は隣にいた顧客にこうもらった。同時に「これじゃダメだ。台湾人には、硬すぎる。」これを聞いた私の日本人顧客は、怪訝な表情をした。が、その直後、驚愕の表情に。なぜなら、目の前で店員が、厨房にラーメンを持ち返って来て料理人にこう言ったのだ。「お客さんがラーメンを作りなおしてくださいと言っています。硬くて食べられない！」

すでに蓄積されたノウハウを利用すれば、商売の時間と金を節約し、スピーディーな市場展開ができる。皆様には、台湾コーディネーターを利用していただき、市場を拡大していただきたいと思います。

■日本より進んだ台湾の冷凍・冷蔵宅配

さて、今回は台湾の宅配状況を見てみよう。まずは、これを見てほしい。日本でもおなじみの黒猫探検隊である。1,000件もの業者が掲載されている。中国語がわからずとも、さまざまな商品が宅配されていることが、実感できるだろう。

台湾版黒猫探検隊

<http://www.t-cat.com.tw/cat.do>

参考：日本の黒猫探検隊

<http://tanken.kuronekoyamato.co.jp>

台湾で「宅配」という言葉は、誰でも知っている言葉である。無くてはならない物流インフラだ。しかし実は、宅配が始まったのがたった七年前。今では、コンビニはもちろんだが台湾の農村部に

行っても日本と同様に農産品店に宅配利用可能の旗が立っている。宅配の成長と同時に無店舗販売業界も急成長している。台湾の宅配は、独自の進化を遂げている。日本より進んでいる分野は、暑い台湾で必須の冷凍・冷蔵宅配だ。全店ではないが、コンビニでも冷凍・冷蔵宅配を受け付ける。また先日の記事にも書いたが、テレビショッピングが盛んである。ここにも特性があり、物により返品率が40%近くに達するそうだ。このための返品宅配などもある。



宅配原票(上がペリカン便、下が宅急便)

■勢いのある台湾宅配便

個人宅配という観点で見ると一位は、「宅急便」。統一速達という台湾流通大手のグループ会社である。日本からは、ヤマト運輸が出資しており、宅急便ブランドのほかに技術協力をしている。統一グループには、台湾コンビニ最大手の7-ELEVENがある。ほかにも、台湾コンビニ三位のHiLife、四位の福客多とダントツの取扱店窓口を持っている。この基盤を利用して利益率の高いCtoCをメインに展開している。営業収入は、30億元(日本円で110億円)、取扱店は、17,000、車両数は、1,150台。

二番手は、「台湾宅配通」。東元電機というメーカーがバック。日本のジャスコで安価な液晶テレビを販売したことを、ご存知の方もいらっしゃるだろう。

目次

現地発！	P 1
台湾月刊レポート	P 2
海外チャレンジ企業 (旬山根酒造場)	P 3
境港利用促進懇談会に ついて報告	P 4
鳥取県産品の香港市場 への売込みについて	P 4
鳥取県台湾経済視察団 の報告	P 5
編集後記	P 5

世界の祝日～9月～

■韓国	24日～26日	お盆(陰暦)
■香港	26日	中秋節の翌日
■ベトナム	2日	国慶節
	3日	国慶節振替休日
■インド	4日	クリシュナ神誕生日
■アメリカ	3日	労働感謝の日
■カナダ	3日	労働感謝の日

出所：ジェット通商弘報
「世界の祝祭日2007年版」から

日本からは、伊藤忠商事、日本通運の出資。ペリカンブランドを展開。伊藤忠商事が、出資している台湾コンビニ第二位のファミリーマート(全家)を窓口に行っている。ちなみに日本でファミリーマートは、宅急便と組んでいる。CtoC、BtoCが中心。営業収入は、18億円(日本円で65億円)、取扱店は、15,000。

そして現在、猛追しているのが、最近宅配に参入した台湾郵局(郵便局)。鳩のマークで、全国にある郵便局網を中心に宅配サービスを始めた。値段も安い。



郵局のシンボルは鳩

○台湾宅配運賃比較表(台湾元)

	同県市内	60サイズ	90サイズ	120サイズ
常温	宅急便	120	160	200
	ペリカン便	108	145	185
	郵便局	70	90	110
冷蔵	宅急便	150	210	270
	ペリカン便	130	180	230
	郵便局	120	170	220

○日本/台湾運賃比較表(日本円)

宅急便/常温/同県市内	60サイズ	90サイズ	120サイズ
日本	740	1160	1370
台湾(日本円換算)	432	576	720

企業宅配という観点で見ると、台湾最大手の大栄汽車貨運。西濃運輸と技術協力。ブランドは、一日配。また新竹貨運は、佐川と提携。日本の飛脚に対して、猿のマークが目印。BtoB、BtoCでは、日本のIT技術をもとに、無線によるカード決済を取り入れ意欲的な取り組みをしている。この二社は、テレビショッピングと手を結び成長している。

■多種多様な販売方法

さて、日本から台湾人消費者向けに直接宅配を利用した商売が可能か。たとえば、日本から台湾へのお取り寄せ、など。結論から言うと難しい。宅配便各社は、日本と技術提携、資本提携をしているが、日本からシームレスで物を送るシステムがない。現実的に

は、郵便局が取り扱っているEMSを利用するのが、コスト的にも時間的にも早い。では、台湾宅配の恩恵に、あずかれないものか。筆頭は、テレビショッピングであろう。

またコンビニのカタログ販売も有効である。7-ELEVENと宅急便が組んだ、母親節(母の日)では10万個、端午節では粽類が17万個配送されたとの記事がある。弊社でも、饅頭やせんべいなどの仲介をすすめており、5,000箱単位の出荷を見込んでいる。

台湾では、コールセンターなどのシステムも整っている。新聞広告販売やカタログDM、またインターネットショップを利用することも可能である。台湾に在庫を置けば、注文に応じて宅配配送をしてくれる業者もある。また予約販売方式を利用すれば、在庫を持たずに台湾消費者まで届けることも可能だ。どちらにしろ台湾でワンストップが入るが、挑戦したい方には、さまざまな通路業者を紹介することが可能だ。

<参考:台湾各社のURL>

統一速達(宅急便)

<http://www.t-cat.com.tw/index.jsp>

台湾宅配通(ペリカン便)

<http://www.e-can.com.tw/>

台湾郵局(郵便局)

<http://www.post.gov.tw/post/index.jsp>

大栄汽車貨運

<http://www.tjoin.com>

新竹貨運

<http://www.hct.com.tw/main.jsp>

台湾ドルレートは、1台湾ドル=3.6日本円で計算。

写真提供:(株)スナーク

【(株)スナーク 富田】

鳥取県台湾コーディネーター富田恭敏氏については、本誌第8号http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/file01/20070717170807_7.pdf (2ページ)をご覧ください。

鳥取県産業振興機構海外支援部を窓口、県内企業の皆様からの簡単なお問合せに対応いたします。

また、商談斡旋依頼や実務的な情報提供などの具体的な案件についても、当財団取次ぎの上、個別に当該相談依頼者と契約できます。

【お問合せ】

海外支援部(担当:早川、中江)

電話:0857-52-6735

FAX:0857-526782

海外チャレンジ企業

世界の展示会に挑戦する日本酒

～ 有限会社山根酒造場 ～

清酒「日置桜」で知られる山根酒造場は、幻の米「強力」を復活させた酒蔵として多くの方がご存知だと思う。明治20年創業、大自然に恵まれた地の利を活かし、清らかな水と高品質の米から醸し出される白滴は、日本各地の愛飲家から大変高く評価されている。その旨い酒を、日本国内はもとより海外にも広めようと取り組んでおられる山根正紀社長にお話を伺った。

■ヨーロッパで見た間違った日本文化

山根酒造場が初めて海外の展示会に出展したのは、平成17年スペイン・バルセロナで開催されたアジアフェスティバルだった。ワインが主流であるスペインで日本酒がどう評価されるのか興味を持ち、日本酒のPR、及び販路開拓調査を行った。当時、現地の日本酒はほとんどが中国産で、とても日本酒とは思えない代物が流通していたようだ。日本食レストランでは焼酎やマオタイ酒が「日本酒」として出され、それが日本の文化として誤解されている事実に、山根社長は大きなショックを受けた。



「アジアフェスティバル」出展の様子

■日本人より日本酒に詳しい台湾人

同社は今年6月、台湾・台北市で開催された「酒フェスティバルイン台湾」に出展し、台湾で日本食、日本酒が受け入れられていることを実感した。「来場した台湾の人は、日本人よりも日本酒に詳しく、米の種類まで熟知していて驚いた。」と山根社長は語る。アジアの中でも特に親日家の多い台湾は、欧米に比べると日本文化の下地があるので、ビジネスチャンスが多いと言えそうだ。

■自社の商品は自分の言葉でPRする



純米吟醸 「伝承強力」

どっしりした酸をベースに、緻密で凝縮された旨味を備えた味わい。山吹色に輝く風貌の中に、強力米の主張を感じさせる一本です。

海外での展示会に出展する際のポイントは、「大切なのは自分の言葉。伝えたいこと、譲れないこと、こだわっていることは、自分で言えるようにあらかじめ準備する必要がある。」と語る。なるほど、私自身もいくつか海外の展示会を見てきたが、山根社長が語るとおり、多少下手でも現地の言葉で一生懸命商品のPRをするブースの周りには、自然と人が集まっていた。



鳥取市青谷町にある(有)山根酒造場外観の様子

国内とはまた一味違う海外の展示会。日本を知ってもらうため、言葉も違う、習慣も違う異国に、山根酒造場は今後も挑戦を続ける。

【企業情報】

有限会社山根酒造場
鳥取市青谷町大坪249
電話：0857-85-0730
FAX：0857-85-0465
HP：<http://www.hiokizakura.jp/>

ジェトロ鳥取からお知らせ

安全保障貿易管理制度説明会 のご案内

ジェトロは、経済産業省とともに「安全保障貿易管理制度説明会（適格説明会）」を開催します。機械等の輸出の際に便利な包括許可制度の取得、更新に必要な説明会ですので、未受講の方はご受講ください。

- 日時：鳥取会場 9月13日(木)
14:00～16:00
島根会場 9月14日(金)
14:00～16:00
- 場所：鳥取会場
鳥取県産業技術センター
大会議室 3階
島根会場
くにびきメッセ東棟601
大会議室
- 申込締切：鳥取会場 9月6日(木)
島根会場 9月7日(金)
- 参加費：無料
- 申込、詳細はこちら：
<http://www.jetro.go.jp/events/seminar/20070725303-event>
- お問い合わせ：
ジェトロ鳥取（志牟田）
電話：0857-52-4335
ジェトロ松江（小林）
電話：0852-27-3121

境港利用促進懇談会を開催

東京で初めての利用促進懇談会を盛大に開催

境港貿易振興会では、去る8月2日に東京で初めてとなる利用促進懇談会を開催しました。グランドプリンスホテル赤坂を会場に、在京のメーカー・商社・物流企業など90社から160名の方々にお集まりいただきました。

セミナーでは、境港（さかいこう）の港湾概況について説明の後、片山善博慶應義塾大学教授に「境港が対岸諸国との玄関港となるために」と題して講演をいただきました。講演では、境港の名前の由来から歴史的に紐解かれ、対岸諸国との交流を盛んにするためには、外交の

安定が不可欠なことや、韓国とのF T A(自由貿易協定) / E P A(経済協力協定)が望ましいことなどを説明されました。

セミナー終了後は、企業同士の情報交換、境港関係者との名刺交換など、終始和やかな雰囲気のもと、参加された皆さんとの交流会がありました。妖怪によって、全国各地から観光客を招いている境港市の紹介や、立食懇談会での地元山陰の特産二十世紀梨のリキュールによる乾杯など、境港の知名度向上のため、工夫が凝らされました。



片山善博教授の講演に耳を傾ける大勢の参加者



交流会の様子

境港貿易振興会では、この懇談会を契機として、境港の定期コンテナ航路の利用促進につながるよう、引き続きポートセールスに努めて参ります。

写真提供：境港貿易振興会

【境港貿易振興会 坂本】

連載

鳥取県産品の香港市場への売込みについて

さて、今回は鳥取県の日本酒輸出について考えてみたい。まず所得水準と人口をアジア各国ごとに比較してみよう。基準を同一にする為、2005年度の統計を使用する。

■ターゲットは香港の富裕層

売り込みにあたっては、マーケットに購買力のある所得階層が存在する必要がある。一人当たりのGDP（国内総生産）は、香港はシンガポールに次いで高く、人口はシンガポールより271万人多い。つまり、高価格品が購買出来る階層が多いと言える。日本食が世界中に定着しつつあり、日本酒については“SAKE”という言葉も世界共通語になってきた。

昨年、香港において、高所得層をメインターゲットにしている、香港City Super（www.citysuper.com）、2006年日本酒フェアにおいて、鳥取県内の蔵元、中井酒造（株）、山田錦 J A S 認定米を40%に精米し、日本初有機 J A S 米使用の有機加工酒、純米大吟醸“重蔵”が高価格にも関わらず、販売好調で、他の蔵元及び、CitySuper側も大いに注目した。

香港は英国の統治下に置かれていたこともあり、自由港としてのメリットを活かし、世界各国の食材、酒類が揃い、飲食も多様化し、高品位な市場が形成されて来た背景がある。

ちなみに、酒類の税関係は次の通り。（2007年7月時点）

輸入関税 = 0%
 物品税 = 日本酒 20%
 ワイン 40%
 ウイスキー 100%
 酒 税 = 0%

■県内蔵元の生き残りのために

鳥取県内には、日本酒の蔵元は東部、中部、西部地区で計24社、しかし、このところ、焼酎ブームで苦戦を強いられている。本物志向への対応も含め、国内、海外需要喚起策をどう広げ、成果に結び付けていくか、今回の中井酒造の取り組みが県内蔵元の生き残りの方向性を示す起爆剤となりそうだ。いずれにしても、一回きりの出展ではなく、長期的な且つ、熱い心を持つての取り組みが大いに期待されるところだ。

<連載終了>

2005年度 一人当たりのGDP

出所：ジェトロ

国 名	一人当たりのGDP（単位：米ドル）	人口（単位：100万人）
香 港	25,260	7.04
シンガポール	26,969	4.33
台 湾	15,199	22.80
韓 国	16,471	47.82
中 国	1,732	1315.80

【ジェトロ貿易相談デスク 黒住】

鳥取県台湾経済視察団の報告

本年6月に、県内の民間企業等の方々と、フード台北（国際食品見本市）や台湾中南部の食品製造企業、高雄港の視察を行いました。

このたびの団の特徴と言えば、どこにでもあるお馴染みの台北ツアーではなく、台湾中南部を重点的に視察したことです。やはり、そのあたりで台湾を幅広く眺めたことにより、自己の描いていたそれとは異なる新たな発

見をされたようで、それが新しいビジネスにつながっていくことを期待しているところです。

なお、本県が友好交流を進めている台中県では張壯熙（チャン・チョウシー）副県長が知事、副知事へ感謝の意を示され、併せて今後経済交流の一層の発展について互いに努力していくことを確認しました。

月日	主な内容
6/20 (水)	・ 関空→台北 ・ 「鳥取県の夕べ」参加 (フード台北出展企業、富田コーディネーターとの意見交換会)
6/21 (木)	・ フード台北視察：本県出展企業は、(有)あぶい蒲鉾、 (有)AONケミカル、(株)エミネット、 (株)越河、(有)澤井珈琲、千代むすび酒造(株)、中井酒造(株)、丸京製菓(株) ・ 台北駅（新幹線）→台中駅 ・ 大安郷農会訪問（農協の酒造部門） ・ 先麦食品股份有限公司訪問（全国展開の菓子工場） ・ 張壯熙台中県副県長主催歓迎会
6/22 (金)	・ 台中駅→高雄 ・ 台湾区冷凍水産工業同業公会訪問 (台湾全体の冷凍水産業組合) ・ 新和興海洋企業股份有限公司訪問 (同組合加盟の水産加工企業) ・ 高雄港務局訪問 ・ 統一阪急百貨店視察 (今春オープンした高雄市の大型百貨店)
6/23 (土)	・ 前鎮魚市場視察 ・ 高雄→台北駅→関空



上：6/21台中県大甲鎮「先麦食品股份有限公司(菓子工場)訪問」



上：6/22高雄市「新和興海洋企業股份有限公司訪問」

【鳥取県産業振興機構海外支援部 中江】

編集後記

先日、鳥取県の海外コーディネーターである富田氏が台湾より来鳥し、県内企業7社を訪問しました。

食品メーカーと酒造メーカーを主に周り、台湾での新たな販路開拓の可能性を探りました。

最近特に、台湾では日本食が求められており、旧正月や中秋節などでは贈答用の品として人気があるそうです。驚いたことに、台湾では母の日(母親節)が大き

なイベントであり、一年のうちで一番の贈答シーズンなのだそうです。

ちなみに、台湾の母の日は日本と同じく5月の第2日曜日で、やはりカーネーションを送るそうです。

では、父の日も日本と同じ6月の第3日曜日かと思いきや、なんと8月8日だそうです。理由は、「パパ」(表記は爸爸)と「88」の発音が同じだから、と聞いて納得しました。【那】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望(無料)の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構海外支援部(担当：早川)

E-mail: kaigai@toriton.or.jp : 0857-52-6735

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?sub=1&cate=9&ind=1>

とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■(財)鳥取県産業振興機構海外支援部
0857-52-6738

■ジェトロ鳥取貿易情報センター
0857-52-4335

【西部窓口】

■(株)さかいみなと貿易センター
0859-47-3900

■境港貿易振興会
0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局
0859-42-3705

■ジェトロ貿易相談デスク
0859-45-2203

■鳥取県商工労働部産業振興戦略総室
0857-26-7245